

玉井小だより

平成27年6月19日
大玉村立玉井小学校
TEL (48) 3302
発行者 校長 佐藤一男

言葉と心

2年生が「みんなでつかおう ふわふわことば」という勉強をしていました。

人を元気にしたり、うれしい気持ちにしたりする言葉を「ふわふわことば」として、集める学習です。

「ありがとう」

「どうぞ」

「じょうずだね」

「だいじょうぶ だいじょうぶ」

「ごめんね」

「いっしょにあそぼう」

素敵な言葉をたくさん集めて大きな紙に貼っていました。

学習後の感想には次のようなものがありました。

「ふわふわことばは、うれしい気持ちになったりします。ちくちくことばは、いやな気持ちになります。ちくちくことばをつかうより、ふわふわことばをつかったほうが ともだちも いっぱいできます。」(2年武田葉奈さん)

4年生はあいさつの言葉についてみんなで考えたようです。

「お母さんが毎日『おはよう』といってくれて、私も『おはよう』といったら、自分もうれしくなったので、これからも『おはよう』といいたいです。」(4年押山春菜さん)

「この前、おかあさんに『おはよう』って言ったら、『おはよう。ちゃんとあいさつ言えて すごいね。』と言われて うれしかった。」(4年安藤瑠菜さん)

人は言葉を使って考えます。自分の感情をコントロールするのも言葉です。

先生方は、丁寧にあいさつや言葉遣いの指導をしています。言葉は1時間の授業で身につくものではありません。繰り返し繰り返し、様々な場面で指導しています。ご家庭でも同じ思いで子どもたちと会話をしていただくと一層効果が上がると考えています。子どもたちの「ふわふわことば」に気づいたら、ぜひほめてやってください。



【ふわふわことば】

玉小ふれあい邦楽教室

今年も邦楽教室が始まりました。6月16日の3、4校時は、5年生が三味線、尺八、琴の演奏を聴き、実際に楽器に触れ、音を出す体験をしました。

村の学校支援地域本部のボランティアコーディネーターの方にお世話いただき、大玉民謡愛好会方々など7名のボランティアの皆様にお越しいただきました。

三味線 鈴木哲夫さん、太田ハル子さん、笹山恵美子さん、斎藤孝子さん

尺八 近藤源之助さん **お囃子** 近藤睦子さん **琴** 須藤綾子さん

5年生の子どもたちは、2年目ということもあり、穏やかな表情でお習いしていました。尺八は、なかなか音が出ないのですが、尺八を手にし、息が苦しくなるほど吹いてみた経験は、一生残ります。これを機会に三味線や琴に興味をもつ子が出るかもしれません。将来民謡の大家になる人が出ないとも限りません。本当に貴重な体験だったと思います。

講師のみなさんは、子どもたちのための楽器を全て用意して下さり、着物を着て子どもたちに指導していただきました。事前の準備や後片付けも含めると、大変な時間をかけていただいていることと思います。本当に頭が下がる思いです。

6月23日（火）の3，4校時は4年生が、10月20日（火）3，4校時には6年生が、同様の体験学習をします。

お時間のある方は是非参観したり、一緒に体験したりしていただきたいと思っています。

たくさんの方においでいただくと、子どもたちの学習意欲も高まります。また学習支援ボランティアの方々も喜ばれることと思います。

子どもたちは、ここ大玉村にこのように素晴らしい邦楽家の方々がいらっしゃることを誇りに思ったことと思います。



水泳学習が始まりました

6月17日、全校集会でプール開きの式を行いました。早速、18日には5年生が村民プールで2時間続きの水泳の学習を行いました。村の学習支援ボランティアの方においでいただき、丁寧な指導をいただきました。

P T A会長の武田智道さん

保護者の笹山仁子さん

安達地方広域行政組合北消防署岩代出張所の菅野修平さん
この3名の方は学生時代に水泳を専門にやっていたそうで、競技経験も水泳指導の経験も豊富だとお聞きしました。教えてもらう子どもたちも安心して笑顔で腕をとってもらったり、足を押してもらったりしていました。子どもたちにとって充実した、とても楽しい水泳学習になったことと思います。

この後も水泳の特別講師として、各学年2時間ずつご指導いただく予定です。保護者の皆様も時間があれば是非、専門家の指導と子どもたちの様子を見に来ていただきたいと思っています。

